

テレワークの種類	在宅勤務	モバイルワーク	サテライトオフィス	狙い	生産性向上	移動時間短縮	非常時の事業継続	顧客満足度向上	WLB向上	オフィス費用削減	通勤弱者対応	創造性向上	優秀な人材確保	省エネ・CO2対策
	○	○	○		○	○	○	○	○		○	○	○	

企業の概要

社名	シトリックス・システムズ・ジャパン株式会社	都道府県	東京都
業種	ソフトウェアアプリケーション販売	従業員数	131名
事業概要	モバイルワークを実現するITソフトウェアの開発販売		

テレワーク実施概要

雇用上の規定	就業規則に規定
テレワーク推進担当部門	人事部
テレワーク対象者	全社員
実施者数	131名
実施日数	月16日以上(日常的に実施)

テレワークの導入・拡大の経緯

会社の主要製品がモバイルワークを実現するITソフトウェア(仮想デスクトップ)であるため、会社社員自らを当然その実践者としている。

テレワークの概要・特徴

- 使用機器を問わない。会社貸与PC,個人PC,会社貸与および個人スマートフォン、タブレット端末などすべてにモバイルワークソフトウェアアプリケーションを搭載しクラウドサービスを活用して実施。
- 社員全員が対象。理由を問わない。
- 上司と社員間の合意で運用を決定。合意されたアウトプット重視。
- 場所、時間を問わない(自宅、オフィス外のどこか、連続不連続など問わない)
- 週何日でも、あるいは一日単位で数時間でも、柔軟。
- 会議もオンライン(Go-To-Meeting)で可能

テレワーク導入の効果(経営にもたらした効果、その他効果)

- ワークライフバランスが取れる勤務形態で社員の高満足度の実現(通勤時間省略によるより有効な時間の使い方、また通勤ラッシュからのストレスからの開放、自身の私的時間の都合と仕事を自分でコントロールできるなど)
- 朝夕オフィスに出勤してから、という縛りが無いため、柔軟にお客様対応が実施でき、顧客満足に繋がっている。
- 家で仕事をする事により、家族や子供の仕事に対する理解が生まれ、家族の一体感にも貢献。
- 社員自らテレワークを実践することによる、お客様への弊社製品の納得感の醸成
- 災害時にも自宅あるいはオフィス外で通常業務を遂行することが可能(実例:東日本大震災、2014年2月の記録的大雪など)。また無理やりオフィスに来る必要がないため、社員およびその家族の安全と安心感を担保できる。
- 柔軟な働き方により、会社ダイバーシティにも貢献(男女を問わず育児介護との両立、病気治療中社員の働き方サポート等)
- とくに計測していないが、残業時間の現象にも寄与しているはず(深夜になるアメリカとの電話会議のため、会社に残っている必要がない。いったん家に帰り、食事団欒などして、時間になったらその会議にWebで参加するだけで済む)
- 同時に オフィスは社員のコミュニケーションが促進されるような、営業関係者のフリーアドレスオープンシーティング制度や社員のための広いオープンスペースを設けている。
- 上記の相乗効果により全体的な生産性は向上されていると推測している。